

《どうでもいい話、その 497》

どうでもよくない皆様へ

元日のNHKテレビでサザンオールスターズの90分ライブが放送されたのでビデオに入れ、改めてじっくり見ました。デビュー40周年のサザンの桑田佳祐は、音楽的才能は抜群で、数多くのレパトリーは、全て桑田の作詞・作曲です。詩、曲ともに私の感性にマッチして大ファンです。90分間放送の中にインタビューが少しありましたが、十数曲歌いっぱなしの熱唱です。よく声がかれずに、歌詞も間違えずに歌えるものだと、また原由子始め、皆すでに還暦過ぎのバックメンバーもさすがプロだと感心しました。桑田の曲は、歌詞もバラエティーに富んでおり、ラブストーリーから下ネタ、社会風刺、犯罪者の詩まであります。例えば、“かんざし”では、「薄く頬紅 影さして 恋のゲームを終わらせて それが愛だと言うのなら 決してあなたの邪魔をせぬように」など純愛の詩もあれば、反面“ヨシ子さん”では、「最近のエロが足んねえ Why? ニッポンの男たちよ ヤっちゃえ ほい」とか“愛のささくれ”では「ちよいとそこ行く姐ちゃんがヤバイ 今夜は遊びに行こう そして仲良くセクシーにやろう 匂いがイヤらしそう 張り裂けそうな前のボタン」など。また“サイテーのワル”では、「他人の不幸は甘い蜜 暗証番号 口座番号 メールも LINE もバレる 性癖も生い立ちも・・・」セクハラ、パワハラ、シタハラ、ウラハラ、なんでもありで、ハラハラします。

岩波より